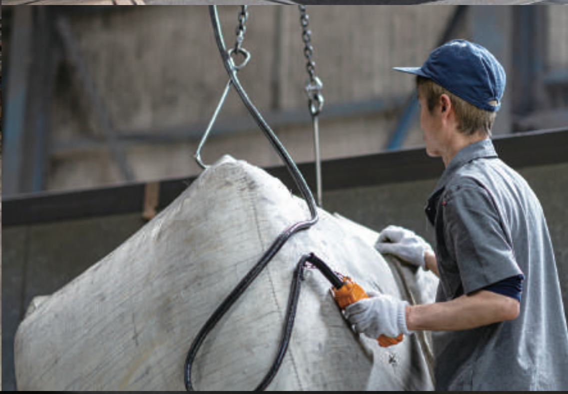


TAIHEI

設計・製造から、資源の循環まで。
一社完結の体制で、高い品質と効率を追求する。

繊維機械の製造・販売、フェルトの製造、様々な商材へのリサイクル。
繊維に関する「一貫対応」と「オーダーメイド」な提案を自社だけで実現できるワンストップ体制。
お客様の課題をヒアリングし、技術とアイデアで解決するのが、私たちの仕事です。

GREETINGS

代表挨拶

機械メーカーではなく、
技術とアイデアを売っている会社です。

株式会社たいへいは、単に機械をつくるだけの会社ではありません。
私たちが大切にしているのは、「機械メーカーではなく、技術とアイデアを売っている会社である」という考え方です。

機械の製造や製品づくりは、あくまで課題解決のための手段の一つに過ぎません。
長年培ってきた豊富な経験を基盤とし、そこに独自の技術と新しいアイデアを掛け合わせることで、これまで困難だった課題に対しても、新たな解決策を見出せると考えています。

現在、私たちはこれまで培ってきた繊維機械技術を活かし、繊維機械事業とフェルト製造事業を展開しています。
お客様ごとの用途や課題に応じた設備設計・製造に対応し、それぞれに最適なものづくりをご提案しています。

加えて、私たちは繊維資源の有効活用にも積極的に取り組んでいます。
廃棄される衣服や布などを活用した繊維リサイクルや、再利用技術を活かした新たな取り組みを進めています。
将来的には、繊維リサイクル分野を牽引する存在を目指し、再生可能な繊維の可能性をさらに広げていきたいと考えています。

お客様一人ひとりの課題を丁寧に聞き出し、粘り強く答えを探し続ける姿勢こそが、私たちの成長を支え、会社を強くする源泉となってきました。
これからも株式会社たいへいは、技術とアイデアの力で、お客様の成長、ものづくりの発展、そして持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

代表取締役社長　太田 喬士

OVERVIEW

会社概要

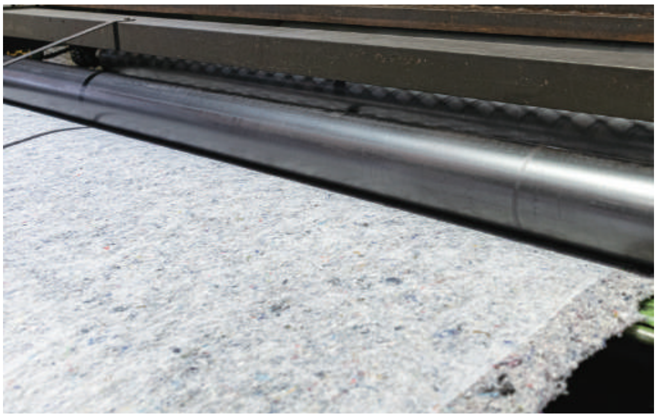
株式会社たいへい HP

名称	株式会社たいへい
創業	昭和23年（1948年）
設立	昭和27年（1952年）1月23日
資本金	30,000,000円
役員	代表取締役社長　太田 喬士 取締役　太田 圭亮 取締役　太田 裕二
従業員数	15名
事業内容	**繊維機械事業** 産業廃棄物の再利用プラントの開発・設計・製造施工 **フェルト製造事業** フェルトマット（防音・断熱材）の製造・販売 **主な製品** 繊維原料自動調合装置及びカード自動供給装置（A.B.C.装置） フェルトマット製造装置 繊維製品再生装置 雑色反毛フェルト（目付400g/㎡～）
御取引金融機関	商工組合中央金庫　名古屋支店 日本政策金融公庫　岡崎支店 豊田信用金庫　堤支店 三十三銀行　豊田支店
御取引先	日本特殊塗料株式会社 株式会社中外 日晃工業株式会社 株式会社ヒロタニ 株式会社タカヒロ 株式会社HOWA 東レ株式会社 倉敷繊維加工株式会社 株式会社スリープセレクト 東京スプリング工業株式会社 友澤木工株式会社 株式会社フルハウス 日本ベッド製造株式会社 株式会社アンネルベッド 株式会社ナショナル発条 東海機器工業株式会社　他 （順不同）
認証取得	ISO 9001:2015 JIS Q 9001:2015

BUSINESS

事業紹介

たいへいだから実現できる、設計から製造まで2つの事業を軸に、原料調達から製品化まで対応できる体制を構築しています。



オーダーメイド設計による製造設備

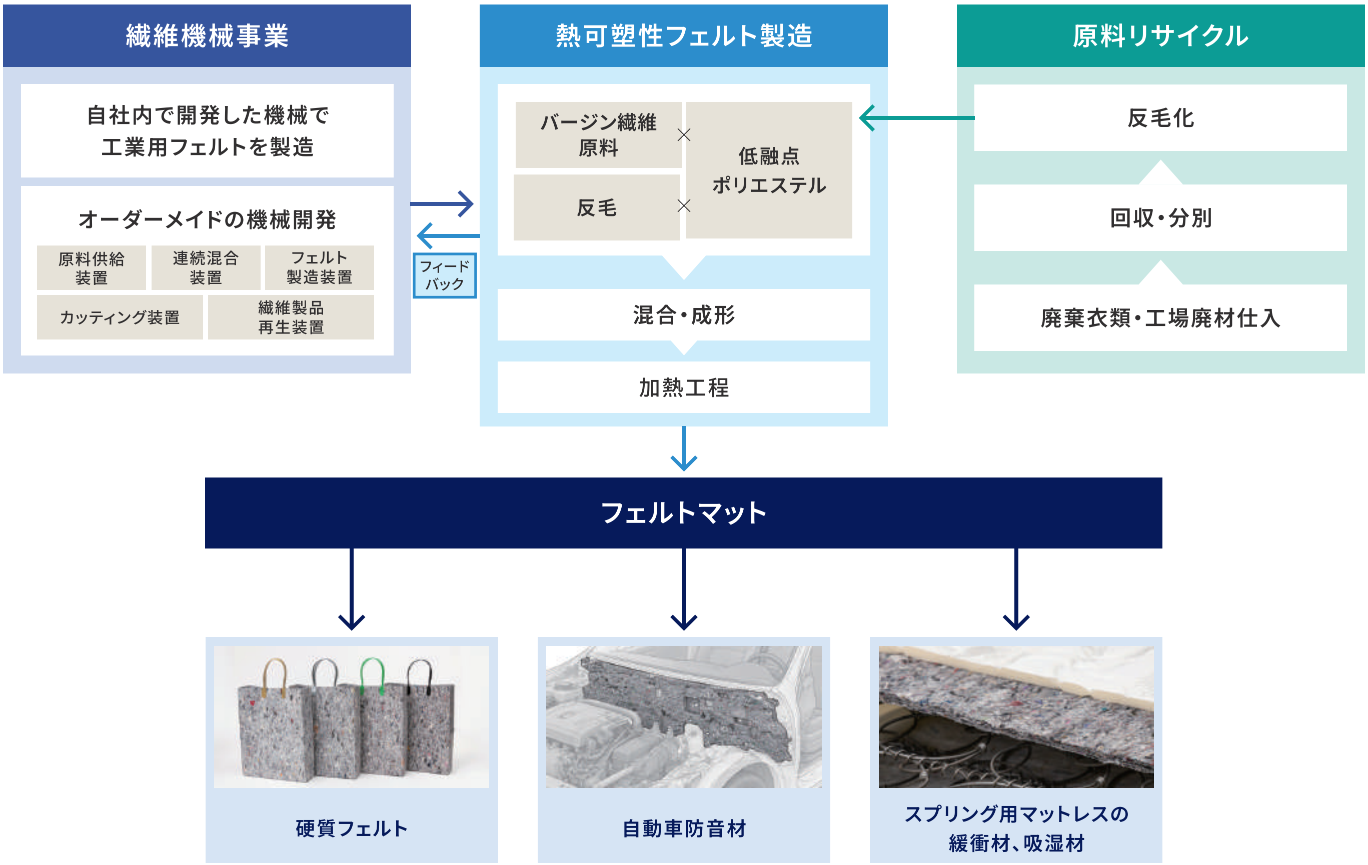
繊維機械事業

創業時より繊維機械を作り続けてきた私たちの確かな設計・製造ノウハウは、あらゆる繊維の可能性を引き出すオーダーメイドの機械開発を支え、たいへいのすべての事業の基盤となっています。

用途に応じた素材開発・製造

フェルト製造事業

繊維機械部門で培ったノウハウを最大限活かし、さらに多くのお客様に価値を提供するべく、自社内で開発した機械で工業用フェルトの製造を行なっています。



ENGINEERING

繊維機械事業

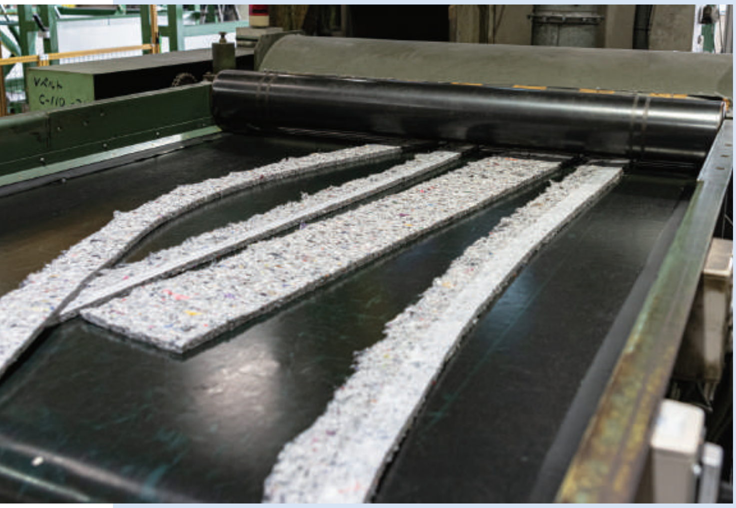
現場の課題に応える、専用設計の一台を。

MADE TO ORDER

オーダーメイドな解決策

現場に合わせて設計する専用の繊維機械

生産条件や加工対象は、企業ごとに異なります。
だからこそ、たいへいは既存の規格機に当てはめるのではなく、ご要望を丁寧に伺い、設計段階から最適な仕様を組み立てます。
処理能力、設置スペース、素材特性、将来の拡張性など、あらゆる条件を踏まえた上で、専用設計を行います。
「既製品では解決できない課題」に応えること、それが、たいへいのカスタマイズ対応です。



RECYCLING PLANT

無駄のないリサイクルプラント

廃材を再資源化して活用

たいへいでは、フェルト製造工程で発生する端材や不良品を無駄にせず、再び原料として活用できる設備を導入しています。自社設計の再生設備によって繊維原料へと再加工し、生産工程の中で有効利用することで、資源の有効活用と廃棄物の削減に取り組んでいます。
機械開発で培った技術と、フェルト製造のノウハウがあるからこそ実現できる再生体制、資源を無駄にしない仕組みを、たいへいは設備から構築しています。

MACHINE

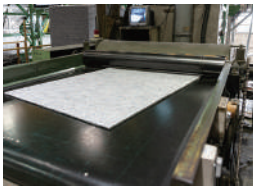
5種類の自社商品機械

原料供給装置

連続混合装置

フェルト製造装置

カッティング装置



繊維製品再生装置

MANUFACTURING

フェルト製造事業

製造から再生までを見据えたフェルトづくり。

METHOD

熱融着方式

用途に応じた最適なフェルト製造方式

たいへいでは、主に熱融着方式によるフェルト製造を行っています。
熱融着方式は、バインダー繊維を熱で融着させることで繊維同士を結合し、安定した品質や多様な素材構成に対応できる製造方式です。
お客様の用途や求められる性能に応じて、ニードルパンチ方式による製造にも対応可能です。用途や製品特性に合わせ、最適な製造方法をご提案します。

MADE TO ORDER

オーダーメイドなフェルト活用

新たな分野にも果敢にチャレンジ

工業用フェルトは自動車に使われることが多いですが、当社はそれ以外の新たな分野にも果敢にチャレンジしています。
さまざまな業界のお客様から、「フェルトでこのようなことを実現できませんか」といったご相談を数多くいただいてきました。その結果、現在ではインフラ整備や企業PR、地域貢献など、これまでフェルトが使われていなかった分野においても、当社の製品が活用されています。
例えば医療用サポーターのクッション材や運搬中の機械部品を守る緩衝材、ベッド用クッション材、一般住宅のアンダーカーペット材など、フェルトの新たな使用用途を作り、可能性を広げています。

RECYCLING-ORIENTED SOCIETY

循環型社会への取り組み

廃材を活用し、新しい価値を創出
参画・協業してくださる企業・団体様を募集中

たいへいでは独自ブランド「TAIHEI DESIGN HUB」を立ち上げました。
TAIHEI DESIGN HUBでは、弊社のメイン事業である繊維機械の設計・製造、フェルト製造のノウハウを生かし廃棄衣類を原材料として地域や企業と関わりながら、新たなものづくりをし循環型社会への取り組みを行っていきます。